



みんなが主役! みんなでつくる 人にやさしいまち横手

横手市

# 社協だより

55号  
2017.6.1

横手市社会福祉協議会

## 地域に役立つ 父ちゃんの“職人技”



5月22日(月)、よこて父ちゃんの楽校会員が山内地域で障子張替ボランティア活動を行いました。作業途中に障子に穴があいてしまうこともありましたが、そこは“職人”の皆さん。慌てることなく笑顔で対応していました。

昨年、よこて父ちゃんの楽校では、農園活動や調理実習、研修などのほか、障がい者事業への協力や餅つきボランティア活動を行いました。地域の元気な“父ちゃん”“母ちゃん”も、一緒に趣味活動や地域貢献をしてみませんか？ 父ちゃんの楽校参加希望者は社会福祉協議会へご連絡ください。

科目	決算額
社協会費	17,417,960
寄附金収入	2,313,289
補助金収入	14,049,702
受託金収入	163,463,201
貸付事業収入(償還金)	490,500
事業収入	8,801,600
介護保険事業収入	1,580,739,753
老人福祉事業収入	19,462,110
障害福祉サービス等事業収入	24,702,970
売店事業収入	24,860,036
受取利息配当金収入	145,211
その他の収入	20,761,254
施設整備等による収入	73,440
その他の活動による収入(退職金収入含む)	60,003,298
前期末支払資金残高	625,370,868
収入合計 ①	2,562,655,192

科目	決算額
人件費支出(退職金含む)	1,390,335,170
事業費支出	310,069,095
事務費支出	66,265,936
売店事業支出	20,760,272
利用者負担軽減額	345,867
分担金支出	112,800
助成金支出	13,711,000
負担金支出	2,016,400
その他の支出	122,000
施設整備等による支出	24,723,864
その他の活動による支出	66,648,496
支出合計 ②	1,895,110,900
当期末支払資金差額 ①-② (次年度繰越金)	667,544,292

※財務諸表は各福祉センター及び横手市社協ホームページでご覧いただけます。

# 横手市社会福祉協議会

## 平成28年度 事業報告

社協では、社会福祉事業の担い手として「誰もが安心して暮らすことのできる地域づくり」を目標に、地域の皆様にご理解とご協力をいただきながら、地域福祉活動の推進や介護サービス提供などを行いました。(各種活動の一部をご紹介します)

判断能力が弱まってきた方を対象に、生活支援員や職員が福祉サービスの利用援助や生活に必要なお金の引き出し及び支払いの代行、通帳等の保管などを行いました。

- ◆ 支援担当地域：横手市、湯沢市、雄勝郡
- ◆ 利用者数：47名 ◆ 支援回数：553回



### 地域福祉権利擁護事業 (日常生活自立支援事業)



高齢者の生きがいづくりや介護予防などを目的としたミニデイサービスを各地域で実施し、趣味活動や季節の行事、健康体操・講話、入浴などを行いました。

- ◆ 開催回数：延1,005回
- ◆ 利用者数：延13,561名

### 自立者支援通所事業(ミニデイ)

今回ご紹介したほかにも、福祉のまちづくりやボランティア活動の活性化、生活課題の解決、障がい者の社会参加、介護予防、介護負担の軽減などを目的とした取り組みや介護保険事業(居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業、特別養護老人ホーム)などを行いました。



介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心かつ快適に生活していただけるよう、浴槽を積んだ特殊車両で訪問し、ご自宅での入浴サービスを提供しました。

- ◆ 利用者数：延2,752名

### 訪問入浴介護事業

交流活動の拠点となるいきいきサロンに、活動助成金の交付や活動調整などの支援を行いました。サロンは、健康や生きがいづくりのほか、助けあい、安否確認などの場にもなっています。

- ◆ サロン箇所数：124カ所



### いきいきサロンの支援



町内会やいきいきサロン等の単位で、地域住民や福祉関係者・団体、町内会、警察、市職員などが集い、地域の情報交換や生活課題の解決に向けた話し合い、見守り体制の確認などを行いました。

- ◆ 開催箇所数：79カ所 ◆ 参加者数：延670名

### 小ネットワーク会議・福祉座談会

市内の学校を福祉教育推進校として指定し、福祉学習への協力や活動助成金の交付などを行いました。また推進校以外の学校でも、福祉出前講座を行って意識啓発に努めました。

- ◆ 福祉教育推進校数：23校
- ◆ 福祉出前講座実施回数：延12回



### 福祉教育活動の推進



小学生や保護者を対象に、福祉現場体験と震災被災地での災害学習を行いました。平寿苑で行われた現場体験では施設見学やご利用者との交流などを行い、災害学習では岩手県大船渡市で復興状況の見学や災害ボランティア等について学びました。

- ◆ 参加者数：延47名

### 夏休みふくし探検隊



横手

安田原下町  
いきいきサロン

今年の三月に二十周年を迎えた当サロンでは、毎回、午後にはグラウンドゴルフや輪投げなどのゲームを行っており、年間の成績優秀者にはオリンピックと同様に金銀銅のメダルを贈呈しています。こうした道具のほとんどは代表世話人の手作りであり、工夫を凝らした活動がたくさんあるサロンです。



十文字

西上町  
いきいきサロン

十文字管内でいち早く立ち上げ、今年で十周年の節目を迎えました。健康講話やレクリエーション等の通常の活動に加え、自治会との共催によるグラウンドゴルフ大会や国道沿いの花壇の花植えなどを行っています。これからも無理のないペースで、地域ぐるみの活動を行っていきます。



大雄

一ノ関・向・桜森  
いきいきサロン

当サロンは近隣の五つの地区が合同で行っているため、日頃はなかなか顔を合わせる機会が少なく、地域の貴重な交流の場となっています。各家庭の自慢の漬物や旬の野菜、デザートなどを持ち寄り、お茶つこを飲みながらのおしゃべりは、尽きることがないほど、毎回盛り上がりを見せています。



**母の日会**

元気いっぱい! 母の日のプレゼント

5.10(水)

雄水苑のご利用者と下鍋倉保育所園児との交流が行われ、園児たちからは元気いっぱいの歌と踊りやメッセージの書かれた絵など“母の日”のプレゼントをいただきました。



**百寿お祝い会**

記念日に健康長寿をお祝い

4.26(水)

平寿苑をご利用いただいている佐藤キクヨ様の百歳の誕生日当日、親族の方や副市長も同席してお祝いの会を開催しました。今後益々の健康長寿をご祈念いたします。



**大森地区福祉協力員会昼食会**

地域との交流で社会参加を

3.15(水)~16(木)、22(水)~23(木)

お一人暮らしの高齢者などを対象とした昼食会を4会場で開催しました。婦人会など地域の方々にも参加いただき、手作りの昼食のほか、歌や踊りなどで楽しく交流しました。



**料理活動「たこ焼きづくり」**

変り種も意外といける!?

5.16(火)~20(土)

雄風荘のご利用者がたこ焼きづくりを行いました。チョコやグリーンピースなどの「当たり(?)」もあり、ゲーム感覚で楽しみながら出来立てアツアツの味を堪能しました。



**ボランティア芸能フェスティバル**

活動の成果を存分に披露

3.12(日)

横手地区ボランティア連絡協議会に登録している芸能ボランティアが、福祉施設や施設での活動の成果を披露し、訪れた約280名の観客を魅了しました。



**不動産業者社員研修への参加**

企業と連携した取り組みに向けて

4.24(月)

不動産業を営む朝日綜合(株)の社員研修で、失業者等の就労支援や家賃の補助などを行う制度を説明し、今後の連携や支援策のあり方等について検討していくこととしました。

# 善意

## ありがとうございました

平成29年3月16日～5月20日受付分

善意は寄付金や物品等をお寄せいただいた皆様、ボランティア活動にお越しいただいた皆様をご紹介します。

### 【本部受付】

- ボランティアグループ「わたぼうし」様
- ハイレンデ・ムジーク様

### 【横手福祉センター受付】

- 村上 陸様(寿町)
- 鈴木 由紀子様(平鹿・浅舞)
- 安藤 詔子様(上真山)
- 赤川 裕子様(根小屋)
- 庄司 宣子様(中央町)
- 堀江 茂寿様(間明田)
- よねやハッピーモール店様
- よねや南店様
- よねや双葉店様
- 立正佼成会様

### 【増田福祉センター受付】

- とっぴんぱらりのプー様

### 【平鹿福祉センター受付】

- 醍醐婦人会様
- よねや浅舞店様

### 【十文字福祉センター受付】

- 伊藤 安晴様(梨木)

- 朝友会様
- はばたきの会様

### 【山内福祉センター受付】

- 高橋 カツ子様(上南郷)
- 藤原 クニ様(北相野々)
- 稲葉 良子様(北相野々)
- 宝扇流 秀宝会様

### 【大雄福祉センター受付】

- 手賀 好様(西丁)

### 【平寿苑受付】

- アンダンテの会様
- 柴田 ヒデ様(田ノ植)
- 沢 かずお様(湯沢市・川連)

### 【雄水苑受付】

- 傾聴ボランティアひまわり様
- とっぴんぱらりのプー様
- JA秋田ふるさと女性部 雄物川支部様
- 下鍋倉保育所様
- アンダンテの会様

### 【憩寿園受付】

- 高橋 貞作様(東町)
- 神原 實様(西上町)
- スーパーモールラッキー様
- 傾聴ボランティアささやき様
- 梨木婦人会様
- 十文字地区婦人会様
- 三重婦人会様



宝扇流秀宝会様より山内地域のミニデイで踊りを披露いただきました

### 次号(8月1日発行予定) テーマは…「暑さ対策」

暑さで体力が奪われる季節。熱中症予防や暑さをしのぐために心掛けていることを川柳にしてみませんか? 次号のテーマは「暑さ対策」です。

#### 【応募方法】

作品(1人2点まで)と氏名(ペンネーム可)、連絡先をご記入の上、ハガキやFAX、メール等でご応募ください。(様式は問いません)

〒013-0072  
横手市卸町5-10  
横手市社会福祉協議会  
「ふくし川柳」係  
FAX: 36-5388  
e-mail: tiiki@yokote-shakyo.jp

#### 【締切日】

平成29年7月20日(木)

たくさんのご応募ありがとうございました

- 一、若作り 歳には勝てない 身のさばき
- 一、おしゃれして ちよっとお出掛け ボケ防止
- 一、チーク塗り おてもやんかと言われた日
- 一、老いてなお 心ときめき 若作り
- 一、若作り 笑顔と健康 ものを言い
- 一、若作り 着飾るよりも 歩きかた
- 一、若づくり 歩く姿は 前かがみ

ふくし川柳

テーマ 若作り  
福祉を詠めば福来たる

## 生活支援体制 整備事業

みんながいきいきと暮らせる

## 支えあいの地域づくり

平成27年4月の介護保険法制度の改正に伴い、支えあいの地域づくりなどをめざした事業が進められています。今号より事業の背景や概要、各地域の取り組みなどを紹介していきます。

### なぜ地域の支えあいが必要?

#### 介護保険制度の創設により地域の関わり方に変化

以前▶介護サービスはわずか。でも、本人を支える地域のつながりや自身の地域参加があった。



向こう三軒両隣。隣近所で何とかしなきゃ!

現在▶介護サービスは充実したけれど、地域とのつながりや地域参加はなくなってきた。



専門機関に任せておけば関わらなくても大丈夫

専門機関等だけで毎日24時間の支援は不可能。また、社会参加の機会が少なくなると、症状の悪化や孤立につながる。

上記は一例ですが、社会の変化により生活課題が増えていく中、自治体や専門機関だけに任せるのではなく、みんなで地域の将来を考え「支えあう・助けあう」ことが益々重要になります。本事業は、そうした地域づくりのために取り組んでいくものです。

#### 少子高齢化が地域の将来に大きく影響

支援を必要とする高齢者が増えると、税金や介護保険料等の負担が増える。一方で、地域の支え手や担い手が不足し、様々な支援活動やサービスが減ってくる。

今回は、事業の内容などをご説明します。



今回は、うつ症状があり、うまくいかないことがあると深く落ち込み、元に戻るまで時間がかかるという五十代の女性の方への対応事例です。

病気が原因で現在仕事を休職中。これからの生活に不安を感じたため社協へ相談に訪れた。本人は気持ちの抑揚が大きく、収入が途絶えていることによる将来への不安感と共に、身近に相談できる相手が欲しいとの希望があった。不安になると家事や片付けも手に付かなくなるため、自宅の中は散らか

就労して収入を得られるようになれば達成感や自信につながり、生活リズムも安定してくると思います。まだ就労にはつながっていませんが、本人のペースに合わせながら、自身の希望や願いの実現、身近な目標をクリアできるような支援に努めていきます。

り、自身の生活のリズムも崩れがちであった。そこで社協では、本人の希望を尊重し、近所の方に見守りや傾聴などの協力を願って精神的な安定を図った。同時に、保健師や病院、福祉サービス事業所と連携し、声掛け訪問や困りごとを聞いて必要な支援を行うこととした。また、家の片付けやゴミ出しの準備を話題にしたり、生活のリズムを整えるためにも就職を勧めるなど、本人の気持ちに寄り添いながら自立に向けた支援も行っている。

困りごとは、最寄りの福祉センターまたはくらしの相談窓口(TEL. 32-6101)へお聴かせください。

## 福祉教育活動推進校 山内小学校

山内小学校では、平成28年度に「思いやりの心を持ち、感性豊かな子ども」を目標として、福祉教育活動に取り組みました。

地域との交流活動では、芋の子の植え付けや秋のなべっこ会に地域の方々を招待したり、保育園の園児の体験入学に合わせて雪像づくりや読み聞かせのおもてなしなどを行いました。こうした活動を通して学校では「地域の方々や幼児などとの交流を大切にして、福祉や地域への関心を高め、山内のよさを再発見していきたい」と、これからも地域と積極的に交流し、地元を大切にする心を育むこととしています。



地域との交流を大切にして、福祉や地元への関心を高めます

また、PTAや中学校との合同リサイクル活動では、児童自ら中学生と活動の進め方などについて話し合うことにより自発性を促したほか、各種活動では上級生が下級生のお世話をしており、相手を思いやる心も育みました。

学校のふるさと教育の子ども像である“世の中に役立とうとする意欲を高める子ども”をめざして、今年度も推進校として福祉教育活動に取り組んでいきます。

### 社協会員加入のお願い

社会福祉協議会の会員募集を行っていますので、皆様のご協力をお願いいたします。ご協力いただいた会費は、地域の支え合い活動やボランティア活動、福祉活動の啓発に関する事業などに活用させていただきます。

◆募集強調期間／七月一日～九月三十日

※期間中、福祉協力員または本会役職員が加入のお願いに伺います。なお、会員は一年を通して募集しています。

◆会員区分／

一般会員 700円

賛助会員 1,000円以上

特別会員 2,000円以上

※一般・賛助会員は「個人や世帯」、特別会員は「個人や企業、団体」が対象。

◆問い合わせ／本部地域福祉課

☎36-53377

### 災害ボランティア活動実践研修会の開催

災害時などに地域での復旧・復興活動などを支える人材育成を目的とした研修会（基礎編）を開催します。

◆日時／七月一日（土）

午前10時30分～午後3時30分

◆会場／サンサン横手

◆内容／①講義 ②演習

◆定員／四十名

### お知らせ

◆参加申込／六月二十三日（金）※定員になり次第締切ります。

◆参加費／無料（但し、昼食希望者からは当日500円をいただきます）

◆その他／秋に応用編を開催します。なお、本研修を受講された方には災害時に協力を依頼する場合があります。

◆申込・問い合わせ／本部地域福祉課 ☎36-53377

### かいてカフェの開催

在宅介護者などの相互交流や情報交換、リフレッシュなどを目的とした集い・語りの場「かいてカフェ」を開催します。

◆期日／六月二十六日（月）、七月三十一日（月）、八月二十二日（火）、九月十五日（金）

◆時間／午前10時～午後3時

◆会場／横手市交流センター1Y ぷらざ3階 研修室1

◆参加費／無料

◆その他／申込の必要はありませんので、都合のつく時間に自由にお越しください。

◆問い合わせ／本部地域福祉課

☎36-53377

### 電話でお話してみませんか？

ボランティアが、お一人暮らしの方や日中お一人である方などへ電話をかけ、話相手となる「声の訪問活動」を行っています。利用を希望される方は、ぜひご連絡ください。

◆問い合わせ／横手福祉センター

1（専用回線）

☎33-0294

### 広報委員

- 近 成 一
- 岡 固 毅
- 片倉由美子
- 嵐田 良子
- 谷川 都子
- 石 沢 達雄
- 佐藤 芳知
- 永瀬 吉之

社会福祉協議会は、住民の皆様の参加と関係機関・団体との協力により「住みよい福祉のまちづくり」を進める、社会福祉法（第109条）に定められた民間団体です。

■横手市社会福祉協議会本部 TEL.36-5377

(市外局番 0182)

横手福祉センター TEL.33-8668

大森福祉センター TEL.26-3274

特別養護老人ホーム平寿苑 TEL.38-7011

増田福祉センター TEL.45-4848

十文字福祉センター TEL.42-5858

特別養護老人ホーム雄水苑 TEL.22-4561

平鹿福祉センター TEL.24-3283

山内福祉センター TEL.53-3009

特別養護老人ホーム憩寿園 TEL.42-2510

雄物川福祉センター TEL.56-2072

大雄福祉センター TEL.52-3311

横手市くらしの相談窓口 TEL.32-6101

横手市協だより ●発行●横手市社会福祉協議会 〒013-0072 横手市卸町5番10号 TEL.36-5377 FAX.36-5388

E-mail honbu@yokote-shakyo.jp

ホームページ <http://www.yokote-shakyo.jp/>

横手市協

検索